

山協ニュース

(一社)岩手県山岳・スポーツクライミング協会

第213号

令和2年4月20日発行

[https:// iwatesankyo.or.jp/](https://iwatesankyo.or.jp/)



新ボルダリング場完成

昨年令和元年より工事中であったボルダリング場が完成しました。屋外の幅は国内最大級で35メートル、屋内は幅22メートル、高さはいずれも5メートルです。工事費は3億4536万円。

これで4月1日より名称も変更され登はん競技場がスポーツクライミング場に、新設されたところが第1ボルダリング場（屋外・屋内）に、前のところが第2ボルダリング場となりました。

このボルダリング場の大きな特徴は屋内・屋外の両壁が併設されていることです。屋外はオープンスペースで観客との一体感、解放感、そして臨場感を重視しており、悪天時にはネットやカーテンが下げられる構造になっています。屋内は冬季や荒天時の練習施設としてまた、アイソとしての機能を重視し、選手待機スペースを広く確保（第2の約4倍）しています。トイレ・更衣室・手洗い場・事務室も充実しています。



冬山講習会兼指導員研修会報告 岩手山 相の沢コース



期 日：令和2年2月8日（土）9日（日）

会 場：岩手山（相の沢コース）

参加者：土井祐之（指導部長）、中島隆之（指導部副部長）、寺内宏晋、渡邊美智子（指導部員）、村上友志、遠藤光志、樋口由美（検定）、及川真紀、駒込幸生、澤口誠、及川秀明、鬼川博昭（12名参加）

暖冬といわれている今年であるが、ここに来て今年一番の寒気の到来ということで、水曜日から内陸は雪降りとなった。雪不足で、相の沢コースからの岩手山の登山は可能だろうか心配していたが、恵の雪となり、問題なくスキーで行動することができた。それどころか、これまで森林限界でスキーをデポしていたが、山頂直下Y字分岐点までスキーで達することができた。7:30に相の沢駐車場を出発。風も穏やかで快適に登行を行う。日帰りの及川、鬼川が先頭に立ちトレースを



築いてくれるので、体力を温存することができた。森林限界から上部も風は弱く視界も良好、スキーを付けたまま快適に登る。9合目小屋までの下りは良質なパウダーだが安全第一で下る。9合目小屋は冬用入り口が開いたままで、雪が小屋内部に入り込んでいた。8合目小屋に午後3時到着。早々に交流会。時間はあっという間に過ぎてゆく。

5時起床。朝食を摂り、小屋清掃を行い7時に出発。視界も4, 50m程あり、風もそれほど強くないので頂上を目指した。しかし、やはり岩手山である。9合目を過ぎY字分岐点では風も強くクラストしているのでスキーをデポしアイゼンを装着する。防寒防風対策を指示し、隊がバラけないよう注意した。外輪山に達すると風はさらに強く、飛ばされないよう踏ん張りながらの登行となる。8時45分、全員で山頂に到達。記念写真を撮りすぐに下山する。



9合目を越え、相の沢に向かい地図を読みながら下山する。下降途中2名がスキー滑走中に転倒し足をひねる。一名は中島医師にテーピングを施していただき、空身でワカンに履き替えて下山。もう一名は空身でスキーのまま下山。かなり時間がかかるのではと心配したが、午後3時に全員が相の沢駐車場に到着することができた。

今回の研修会を通し、セルフレスキュー訓練の必要性を強く感じた。怪我や事故が発生した時に、どう対応するか知識・技術を身につけることが指導員としては必要である。今後、指導部としてもセルフレスキュー講習会の開催を検討していきたい。記録：土井祐之

令和2年度事業計画及び予算決定

一般社団法人岩手県山岳・スポーツライミング協会と名前が変更後初めてとなる通年で令和2年度事業計画、予算が3月18日開催の理事会で決定しました。

これまで定時総会での決定事項でしたが定款第6条の規定により理事会決議となったのを受けての決定です。

尚、決定後、全国及び近県でのコロナウィルス感染拡大のため次々と計画変更を余儀なくされておりますが、主要内容について報告します。

※ 基本方針

法人化後3年目となる当協会は、来年度は創立80年を迎え多くの会員の奉仕的活動に支えられて運営しており、本県の山岳スポーツの統括団体として活動している。

特に若手指導者養成のための各種講習会の継続的実施、岩手山八合目避難小屋管理や名峰登山、ジュニア登山教室、岩手山臨時夏山診療所の開設、更には加盟団体の皆さんによる市町村民登山、自然保護、遭難対策活動、国民体育大会や各種国際大会での本県選手の活躍等着実な実績を残している。

半面、登山界を取り巻く環境の変化、先鋭的アルパインスタイルの登山が後退傾向にあり、スポーツライミングや大衆登山の台頭、加盟団体構成員の高齢化も進み、国体の山岳競技もスポーツライミング競技と名称変更され、東京オリンピックの種目となり、ジャパンカップやユース選手権等多くのスポーツライミング大会が開催される時代となった。また、岩手県営運動公園には新たなボルダリング施設が建設され、全国有数の施設として位置付けられており、ますますその活用と選手強化に対する期待が大きくなっている。

しかしながら、各分野多岐にわたる事業は理事スタッフの連携のもとに取り組んでいるものの、事業によっては担い手が少なく長年同じ人員体制で行われ後継者も少なく運営に苦慮している。

これらの状況から協会運営及び各種事業推進のためには、以前にもまして運営体制の強化が必要であり、その裏付けとなる財政基盤の確立と透明性、情報の共有と発信はもとよりリスク管理の徹底が重要であることを認識しつつ、山岳、スポーツライミングそれぞれの後継者育成を急務の課題として事業を進めていくこととする。

今年度は、当協会の本県における山岳・スポーツライミングの統括団体としての社会的使命を認識しつつ、従来の事業に取り組むことはもちろんのこと、創立80周年事業の推進に向けて実行委員会を組織し、記念誌・記念山

行の企画を検討しつつ、山の仲間づくりに努めるとともに、コンバインドジャパンカップ盛岡大会の開催、ジャパンツアーの開催、ワールドカップの招致、オリンピック事前合宿等の事業に岩手県、盛岡市と連携し、加盟団体の協力のもとスポーツクライミングの国内拠点として、「山岳岩手」のみならず「スポーツクライミング岩手」の立場確立に努める新たなスタートの年とする。

※ 各部の事業

ア 総務部門

- ① 日山協、他団体との連絡調整、加盟団体及び高体連登山専門部との連携強化
- ② 理事会、理事スタッフ合同会議、部長会を通し意思疎通を図り、また加盟団体長及び事務局長会議、名誉会員・顧問懇談会等の開催を通じて協会事業への理解を深めてもらうとともに、意見提言をお聞きし、円滑な協会運営に努める。
- ③ 広報活動及び情報発信
 - ・ホームページの充実、事業周知、大会結果等の掲載等
 - ・山協ニュースの発行 214号～218号予定 発行部数 200部
- ④ 財政基盤の確立のため、協賛金、事業収入の確保に努める。
- ⑤ 2020年東京オリンピックスポーツクライミング事前合宿の招致活動
- ⑥ 岩手県、盛岡市の協力支援を頂きながらコンバインドジャパンカップ大会の開催準備
- ⑦ パートナー会員の募集日山協、他団体との連絡調整、

イ 指導、研修事業

- ① 加盟団体への技術講習と安全登山の啓発、指導員研修の充実
 - ・残雪期講習会兼指導員研修会 5月23日(土)24日(日) 秋田駒ヶ岳 氷雪登山技術、歩行技術(アイゼン)、ロープワーク等
 - ・沢登り講習会兼指導員研修会 8月2日(日) 桧山川(五葉山) 沢登り技術、読図、ロープワーク等
 - ・岩登り講習会兼指導員研修会 8月23日(日) 川目(盛岡) クライミング技術の習得、ロープワーク、支点構築、遭難対策等
 - ・初冬期冬山講習会兼指導員研修会 12月5日(土)6日(日) 三ツ石山冬山生活技術、読図、冬山遭難対策等
 - ・冬山講習会兼指導員研修会 2月13日(土)14日(日) 焼石岳 ススキー技術、読図、遭難対策等

・一般登山者レベルの講習会の実施

- ② 山岳・スポーツクライミングコーチ(指導者)の養成
 - ・日山協指導委員会と連携し、常に登山における新しい技術の研究に努める。
 - ・指導員会との連携を図り指導員の資質向上、若手指導員の養成に努めるとともに、指導員会主催のインドア研修、県外合宿等を通じて登山技術の向上と安全登山の啓発に努める。各種資格更新の周知。
- ③ 山岳遭難事故防止活動
 - ・日山協遭難対策委員会と連携し、常に新しい遭難対策技術の研究に努める。
 - ・各講習会兼研修会において、読図、ロープワーク、レスキュー技術(遭難対策技術)の講習を取り入れ、指導に努める。
 - ・岩手県警開催の岩手山周辺の警察、山岳救助隊及び岩手県、関係市町村担当者による遭難対策に関する情報交換、事故防止啓発、火山防災等について意見交換に努める。
- ④ SC審判員、セッターの育成と資格更新
 - ・SC審判員、ルートセッターの育成を行う。
 - ・審判員・ルートセッター資格更新研修会を開催し、資格更新の手続きを行う。
 - ・開催期日 2021年1月30日(土)
- ⑤ 夏山リーダー養成講習会の開催
 - ・夏山リーダー養成講習会を開催し、一般登山者の技術向上、遭難事故防止に努める。
 - ・開催期日(前期)9月5日(土)6日(日)
(後期)9月12日(土)13日(日)
- ⑥ 県営運動公園スポーツクライミング認定会の開催
 - ・スポーツ振興事業団と連携し、県営運動公園スポーツクライミング認定会を開催する。
 - ・開催期日 5月24日(日)、7月11日(土)
- ⑦ 岩手県山岳指導マニュアルの改訂
 - ・指導マニュアルを参照し、講習会、指導員研修会を開催し、その都度改定を図る。

ウ 競技運営事業

コンバインドジャパンカップの開催準備、運営に万全を期するとともに県民体育大会兼国体山岳競技選手選考会への参加促進を図りながら、下記の競技大会を開催、運営にあたる。

- ① コンバインドジャパンカップの開催
開催日 5月16日(土)～17日(日)
会場 盛岡市 県営運動公園
- ② 各種スポーツクライミング大会開催
ア スポーツクライミングいわてカップ2020
開催日 4月25日(土)～26日(日)
会場 盛岡市 県営運動公園
- イ 第72回県民体育大会兼国体選手選考会
開催日 6月13日(土)～14日(日)
会場 盛岡市 県営運動公園
- ウ スポーツクライミングジャパンツアー兼ボルダリング&スピード大会
開催日 10月24日(土)～25日(日)
会場 盛岡市 県営運動公園

エ 登山普及事業

- ① 岩手山八合目避難小屋管理
ア 小屋切替作業
・夏期小屋への切替4月25日(土)～26日(日)
・冬期小屋への切替10月17日(土)～18日(日)
- イ 岩手山ボッカ大将(荷上げ) 6月6日(土)
- ウ 岩手山八合目避難小屋常駐管理 常駐期間
6月13日(土)～14日(日)
6月20日(土)～10月11日(日)

- エ 岩手山八合目臨時診療所開設
第1回 7月1日(水) 岩手山山開き
第2回 8月9日(日)10日(月) 山の日
第3回 9月21日(月)22日(火)

② 登山普及

- ア ジュニア登山教室 in 岩手山2020
8月7日(金)～8月8日(土)
岩手山登山 八合目小屋泊
- イ 日本の名峰登山2020
8月27日(木)～30(日)
御嶽山3067m 木曾駒ヶ岳2956m
- ウ 「山の日」記念事業 地域住民との交流登山
期間：6月1日～10月31日
- エ 岩手山八合目小屋薪荷上げ登山
期間：6月20日～10月11日
- オ 第58回全日本登山大会千葉大会

令和元2年度 岩手山八合目避難小屋管理当番

当番月日	加盟団体名
6月30日(火)～7月2日(木)	巖鷲山岳会
7月4日(土)～5日(日)	都南山岳会
7月11日(土)～12日(日)	盛岡市山岳協会
7月18日(日)～19日(月)	翌檜山岳会
7月23日(木)～24日(金)	福岡山好会
7月24日(金)～25日(土)	盛岡RCC
7月25日(土)～26日(日)	雫石町山岳協会
8月1日(土)～2日(日)	滝沢市山岳協会
8月8日(土)～9日(日)	八幡平市山岳協会
8月9日(日)～10日(月)	花巻市山岳協会
8月15日(土)～16日(日)	岩手アルペンローズ山岳会
8月22日(土)～23日(日)	高山植物山想会
8月29日(土)～30日(日)	釜石山岳協会
9月5日(土)～6日(日)	日本山岳会岩手支部
9月12日(土)～13日(日)	早池峰山岳会
9月19日(土)～20日(日)	矢巾山好会
9月20日(日)～21日(月)	北上山岳会
9月21日(月)～22日(火)	友愛病院山の会
9月26日(土)～27日(日)	盛岡山想会
10月3日(土)～4日(日)	矢巾町山岳協会
10月10日(日)～11日(月)	JR 盛岡山岳会

期日：令和3年2月20日(土)～22日(月)
交流登山：清澄山 高岩山 烏場山 富山 鋸山
愛宕山

オ スポーツクライミング振興事業

東京五輪開催年である本年、スポーツクライミングへの注目が一層集まる中、今後に向け中央大会の誘致を図るとともに、従来大会の統合を図り次代に適した内容とする。

新設のボルダリング施設を有効に活用し五輪キャンプ及び全国大会の招致を図るとともに、本県選手及び代表選手の練習の場、そして若年選手から注目される質の高いルート内容を維持できるように、国際ルートセッター招致や、ホールド確保ができる経営を目指す。

- (1) 親子クライミング体験事業

4/20 (日) ~24 (水) 春の体験教室
 6/27 (土) ~30 (火) 夏の体験教室
 11/7 (土) ~10 (水) 秋の体験教室
 (2) パスウェイスピード教室
 2019/11~2021/3 週1回 日山協・スーパーキッズ
 連携事業

カ 高等学校登山専門部の活動概要

- (1) 岩手県高等学校総合体育大会登山競技 5月28日(木)~5月30日(土)岩手山焼走りコース
- (2) 東北高等学校登山大会
6月26日(金)~6月28日(日)
岩手山焼走りコース
- (3) 全国高等学校総合体育大会登山大会
8月20日(木)~8月24日(月)
群馬県 武尊山 尾瀬アヤマ平
- (4) 岩手県高等学校新人登山大会
9月25日(金)~27日(日)
黒倉山 松川キャンプ場
- (5) 岩手県高等学校クライミング選手権大会
11月1日(日) 岩手県営運動公園
- (6) 全国高等学校選抜クライミング選手権大会
12月26日(土)~27日(日)
埼玉県加須市民体育館

※ 予算について (単位 千円)

項目	本年度	前年度	増減
法人関係(事務局)	1,855	1,882	△27
指導部門	869	744	125
競技運営部	1,672	1,834	△162
登山普及部	5,420	5,138	282
収益事業	3,000	2,350	650
スポーツクライミング部	9,000	10,000	△1000
合計	21,816	21,948	△132

令和2年度予算内容の概要

○ 法人(事務局費)関係

・協会運営のための共通経費で年々事務量も増えていきます。加盟団体等との情報共有のため山協ニュースの発行、ホームページの充実に努めるほか、理事会、加盟団体会議、名誉会員、顧問懇談会の開催、各種会議出張経費など1,855,000円を計上しています。事務局関係手当についても計上。

○指導関係

・残雪期、岩登り、沢登り、初冬期、冬山の各講習会の開催。夏山リーダーや加盟団体長懇談会で要望のあった初級クラスの楽しい登山講習会も予定しています。

○競技運営関係

・ジャパンツアーほか5大会の開催経費を計上しています。県民体育大会への一般の出場を募っています。

○登山普及関係

ジュニア登山教室、名峰登山、高山植物パトロール、安全登山の啓発を行います。また、加盟団体の協力で岩手山八合目避難小屋管理を行い登山者の利便と安全確保に努めます。住民との山の日記念登山への補助。

○収益事業関係

岩手山八合目避難小屋で岩手山登頂記念グッズとして手拭、バッチ等の販売を行い、安全登山の啓発事業経費等に当てます。

○スポーツクライミング関係

・予算規模で900万円と協会一般予算の41%を占めています。大きいものでは、ジュニア世代の養成のための親子クライミング教室、東京合宿、各種国内大会への選手派遣費、今年も海外合宿を予定しており、その成果が待ち望まれます。なお、財源として県補助金450万円と参加料を見込んでいます。

●今後について

3月18日の理事会で決定されたものですが、その後新型コロナウイルス感染拡大阻止のため諸行事が中止されております。予算についても修正が予想されます。

栗石町山岳協会 新加入

令和2年度より加入していただきました。会長は三浦明夫さんです。宜しくお願い致します。

加盟団体会長事務局長会議開催

令和2年3月7日(土)午後1時から(公財)岩手県体育協会会議室で、23団体32名の皆さんの出席を頂き、令和元年度加盟団体長事務局長会議を開催しました。

吉田会長の挨拶の後議事に入りました。最初に令和2年度の事業計画について各部長から、予算案について事務局より説明がありました。予算書についてご指摘があった箇所については今後修正していくことになりました。ありがとうございました。次にコンパインドジャパンカップ、新ボルダリング場、80周年記念

事業計画についてそれぞれ各担当から説明がありました。

次に吉田会長よりスタッフの現状について今後の在り方について各団体にお願ひがあり、中学生の所属のについて、ドーピング・選手登録について、クライミングの大会運営について貴重な意見等をお聞きしました。

最後に各団体より活動状況・加入状況等についてお話を伺いました。それぞれの団体の成立過程も関係しているようですが、若い人たちが入って来ている団体、加入に工夫を重ね増えてきている団体等々参考になったと思います。また現在の早池峰山の様子も伺うことが出来ました。

今後スタッフについて各加盟団体に依頼文書を出しますので宜しくお願ひ致します。

第6回定時理事会報告

日時 令和2年3月18日(水) 19時~21時00分
場所 盛岡市 (公財)岩手県体育協会会議室

出席者 吉田会長、武田、小山の各副会長、畠山、佐藤(誠)、植田、小野寺、遠藤、佐藤(幸)、山口、村上、十二林、千葉(真)、新田の各理事、遠藤、盛合監事、

欠席者 小船、土井、中島、島崎

協議事項

(1)第5回議事録の承認について

小野寺総務部長より説明があり、全会一致で承認された。

(2)業務執行状況について

全会一致で承認された。

(3)令和2年度の事業計画、予算について

事業計画について、各担当者より説明があり、一部誤字訂正の上、全会一致で承認された。

予算について、スポーツクライミング部より来年度の補助金の減額が示されており補助金収入で100万円の減額、強化遠征費で100万円の減額が改めて提案された。

また、予算書の金額提示について千円単位の方が見やすいのではないかと提案があった。

さらに登山普及部より毛布等積立金特別会計について提案があった。

以上について、全会一致で承認された。

(4)令和元年度県体育協会栄光賞の推薦について

小野寺総務部長より提案があり、一部訂正の上、

承認された。

(5)スポーツクライミングいわてカップ2020(4/25-26)
(理事スタッフ会議で審議済み)

(6)第13回岩手県スポーツクライミング競技国体選手選考会(6/13-14)
(理事スタッフ会議で審議済み)

(7)第72回岩手県民体育大会スポーツクライミング競技(6/13-14)
(理事スタッフ会議で審議済み)

(5)(6)(7)について、第4回理事スタッフ会議で審議済みであるが、会場の名称を4月より変更になるため、登はん競技場をスポーツクライミング場とする。月日一部訂正の上、承認された。

(8)八十周年記念事業について

小山副会長より記念事業担当者について提案があった。チーフについて承認され、実行委員について理事全員の当たることで修正提案され承認された。

(9)新型コロナウイルスに係る第75回国民体育大会(鹿児島県)都道府県予選会の対応について

小野寺総務部長より、新型コロナウイルス対策の関係で予選会が実施されないことが予想され、その場合の選手選考について、理事会決定が出来ない場合、三役に一任していただく旨の提案があった。

承認された。

(10)新加入加盟団体について

雫石町山岳協会から加入届が提出された。
定款第9条より承認された。

6 報告事項

(1)事務局

JMSCA 表彰功労賞受賞 元会長工藤洋司氏
前会長高橋時夫氏

吉田会長より説明があった。

(2)指導部

令和元年度冬山研修会兼指導員研修会報告(スタッフ会議で報告済み)

吉田会長より負傷者等出た場合の対応等について、指摘があった。

(3)登山普及部

岩手山八合目避難小屋の夏季小屋への切替作業について・2020年度 岩手山八合目避難小屋管理当番のお願い・2020年度 岩手山八合目避難小屋管理加盟団体一覧

山口普及部長より説明があった。なお、7月25・26日の小屋当番に新加入団体「雫石町山岳協会」を入れ

るとのことである。

(4) 競技運営部

(5) スポーツクライミング部

ボルダリング場の下敷きマット交換のため、古いマットを欲しい場合のことについて説明があった。

(6) 高体連 60周年記念式典出席のお礼があった。

(7) その他

専務理事より理事長会議の口頭報告があった。

JMSCAは900万円の借金を3年間かけて返済していくとのこと。

7 経過報告と予定

- ・11.6 第5回理事会
- ・11.9.10.12 親子クライミング・ボルダリング教室
- ・11.21 第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」研修会
県体協栄光賞功労賞表彰式
- ・11.23-24 東北六県ブロック会議（山形）
- ・11.28-12.1 IFSC 複合予選会 トゥールーズ 2019
フランス
- ・12.7-8 初冬期講習・研修会（三ツ石山）
- ・12.21-22 第10回全国高等学校選抜クライミング大会 加須
- ・1.11 日山協新春懇談会
- ・1.13 名誉会員顧問・懇談会 県山協新春懇談会
国体・インターハイ等報告会
- ・2.1 SC審判員・ルートセッター研修会
- ・2.8-9 冬山講習・研修会（岩手山）
- ・2.16 日山協全国理事長会議
- ・2.19 第4回理事・スタッフ会議 飯岡地区公民館
- ・2.21 高体連60周年記念式典
- ・3.7 加盟団体会長事務局長会議(県体協会議室)
- ・3.18 第6回理事会
- ・3.25 県体協競技団体強化・会計担当者会議
- ・3.25 CJC準備会議 運動公園
- ・4.22 監査
- ・4.25-26 スポーツクライミングいわてカップ2020
- ・4.25-26 八合目避難小屋の夏季小屋への切替作業
- ・5.9 東北六県山岳連盟協議会（秋田）
- ・5.13 第1回理事会
- ・5.16-17 第3回コンバインドジャパンカップ盛岡
- ・5.23 定時総会
- ・5.23-24 残雪期講習会

8 閉会

定時総会中止！

総会は、定款第18条により事業終了後3か月以内に開催することとなっておりますが、全国及び近県での新型コロナウイルス感染拡大のため各種行事が延期または中止になっており、このような状況で6月までに開催できるめどが立たないことから、5月23日予定していた定時総会は中止することになりました。

決議については「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条1項」による書面決議といたします。

具体的には

- 1 総会にかける予定の事柄について、社員全員に送付（議案書を送付）
- 2 送付された議案書に対する同意書が社員から送付される
- 3 すべての同意書が揃った日を決議のあった日とする
- 4 議事録を作成するという流れになります。

各種行事について

全国及び近県での新型コロナウイルス感染増加のため各種行事が延期または中止になっており、4月16日には政府が緊急事態宣言の対象地域を全都道府県に拡大しました。従いまして本協会の今後の各種行事についても変更を余儀なくされます。

今後の予定等については、協会ホームページ <https://iwatesankyō.or.jp/> を注視してください。

応援しています。

岩手の山岳・スポーツクライミング

